

旭陵関西

発行人
旭陵同窓会関西支部長
阿部 紀一郎
印刷所 富士精版印刷株
TEL. 06-6394-1181

日々変化する「普通」



旭陵同窓会関西支部長
阿部 紀一郎
(54期)

旭陵同窓会関西支部の皆様、お変わりございませんでしょうか。この二年半のコロナ禍によって私たちの生活様式だけではなく意識まで変わってきたように感じます。仕事帰りに仲間と行く「一杯」、仲間

で「鍋をつつく」、健闘をたたえて「肩をたたき合う」、別れを惜しみ再会を誓って「かたい握手」などいつから再開できるのか?アフターコロナ時代にはみんな忘れてしまうのではないかと?さらにはマスクのない顔を知らない友人知人ばかりになり肌の温かみを感じることもできない人間の社会になるのでは?杞憂に終わることを願っています。さて、関西支部総会・講演会に登壇

コロナ禍からの脱出



旭陵同窓会会長
木下 毅
(37期)

新型コロナウイルス感染症の流行は3年目になりました。いろいろの会議や催し物が延期や中止となっていました。最近はずいぶん行われるようになってきました。しかし懇親会等はまだまだ難しいようです。

壇にいただいた島泰三氏(41期)が「チコちゃんに叱られる」に、山縣然太郎氏(54期)が「健康カプセル」に登壇。その後のご活躍もテレビで拝見できました。林芳正氏(56期)については申し上げるまでもありません。異業種交流、ネットワーク、先輩・後輩の経験・知識の共有など同窓会に求めるものは様々あります。大きな役割としては、あの時に自分自身をワープさせる効用ではないでしょうか。今回の「旭陵関西」には、あの時と同じく(いやそれ以上)好奇心や向上心をもって計画的に努力されている皆さんの寄稿をいただいています。昨春秋、今年の春の行動規制が無い時期にはハイキングもゴルフも行うことができました。有志によって青春18きっぷでの旅の会(大人の修学旅行)も計画されています。



山口県立
下関西高等学校校長
山田 哲也

ご挨拶

旭陵同窓会関西支部の皆様におかれましては、御健勝にて御活躍のこと心からお喜び申し上げます。また、平素から本校教育の推進に多大なる御支援と御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。さて、新型コロナウイルス感染症は依然として拡大・高止まりの傾向にあり、昨年度も関西の地を訪れることは叶いませんでした。誠に心苦しいところですが、皆様と親しく歓談できる日を心待ちにしております。さて、昨年度の本概況ですが、旭陵祭は、コロナ禍により規模を縮小しながらも二年ぶりに実施できました。体育大会については、直前に

9月4日に予定されている関西支部総会も開催できると良いですね。本部の同窓会総会は今年も中止にしました。来年はぜひ行おうと思っております。日常生活が大きく制限されており窮屈な生活を強いられています。そんな中でも皆さまいろいろ工夫されて楽しく生活しようとしておられることとしましょう。食べるとは一番安心な楽しみだと思います。下関は魚がおいしいので週に1〜2回魚屋さんに行っています。風や波の具合でよい魚がない時もあります。魚が何とかならず

入っています。お刺身・おつゆ・焼き魚くらいしか作りませんがおいしく食べています。高齢化や大型店の進出で近くのお店もだんだん減ってきて買い物が不便になってきています。野菜は農協のお店や近所の八百屋さんが便利です。近所での買い物に自分で行くのでお店の人と懇意になりました。会議の後で良く行きつけのお店に食べに行っていたのですが、まだ行けません。家族とはなじみのお店に行きますが回数が減りました。お店も老朽化や高齢でやめるところが増

なっておりましては、様々な探究活動も織り交ぜながら日々熱心に取り組んでおります。この春の入学入試の結果について、国立大学の現役生合格者数は一二八名であり合格率は約六割、医学部医学科には現浪合わせて一〇名合格など、いわゆる難関大学合格者数も含め、概ね例年の実績でありました。本年度に入り、二一〇名の新入生を新たに迎え、現在、全日制課程生徒六六〇名が、旭が陵の学舎で勉学に部活動に励んでおります。なお、定時制課程につきましては、昨年度末に最後の卒業生三名を送り出し、七九年の歴史に幕を閉じました。誠に寂しい限りであります。

コロナの状況は依然不透明ですが、変化の激しいこれからの社会で活躍できる有為な人材の育成に向けた教育活動の充実に取り組んでまいりますので、引き続き御支援を賜りますようお願い申し上げます。関西支部のますますの御発展と会員の皆様の御健勝と御活躍をお祈り申し上げます。

旭陵祭は、コロナ禍により規模を縮小しながらも二年ぶりに実施できました。体育大会については、直前に

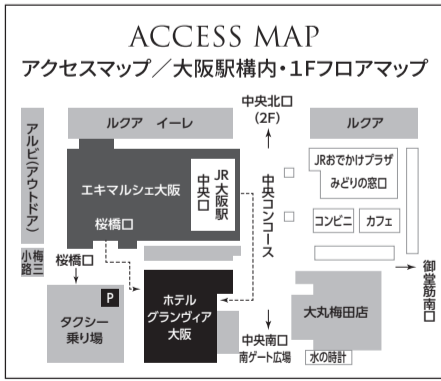
旭陵祭は、コロナ禍により規模を縮小しながらも二年ぶりに実施できました。体育大会については、直前に

高関 令和4年度 旭陵同窓会関西支部総会案内

- 日時: 令和4年9月4日(日) 10:30~15:00
- 場所: ホテルグランヴィア大阪 20階 名庭の間
〒530-0001 大阪市北区梅田3丁目1番1号 (JR大阪駅中央口よりすぐ)
TEL.06-6344-1235(代) FAX.06-6344-1130
- 来賓: 木下同窓会会長、本部役員、山田 哲也校長
- 会費: 8,000円(家族3,000円、85期以降2,000円)
- 式次第: 10:30~11:00 総会

体温計測、マスク着用いただき、
軽装・ノーネクタイで
ご出席下さい

会場はコロナウイルス感染症対策を
講じております。
ホテル会場は200名着席分の
スペースをご用意しております。



※同窓生をお誘い合わせの上是非ご出席下さい。(ご家族の参加も歓迎)
※つり銭のいないようご準備下さい。
※なお、同封葉書またはホームページで出欠の連絡を8月10日までお願いします。(欠席の場合会場準備上必ず返信をお願いします。)
※回答後も出欠の変更がある場合、事務局まで必ず連絡して下さい。
詳しくは旭陵同窓会関西支部のホームページ
(<https://www.kyokuryo-kansai.jp>)
をご覧ください。

11:10~12:30 特別講演 寺川 奈津美氏(78期)

◆演題◆『令和時代の気象予報とのつきあい方』

◆要旨◆ どのくらい異常気象が身近に迫っているものなのか、これだけは知っておいてほしい気象情報の見方などをお話できたらと思います。

寺川 奈津美氏 プロフィール

山口県下関市出身。気象予報士・防災士。慶應義塾大学理工学部を卒業後、2008年NHK鳥取放送局でキャスターを務める。同年、気象予報士の資格を取得。2011年4月より5年間NHK総合「ニュース7」で気象情報を担当。2016年から2020年までフジテレビ「直撃LIVEグッディ!」に出演。現在は二人の子供を子育て中。著書「はれますように 未来はきっと変えられる」



12:30~ 懇親会

〈特集〉趣味の世界への招待

一昨年より猛威を振るっています新型コロナウイルス感染症も感染者数の減少傾向を見て、そろそろ終息かと思いいながらも気を緩めることも出来ず、皆さまの生活も何かとご不便を感じられていたのではないのでしょうか。前号では、皆さまそれぞれの「コロナ禍の過ごし方」の特集を組みましたが、今号では、それぞれが楽しまれていることを更に深掘りし、「趣味の世界への招待」と題しまして特集第2弾を組みました。ご寄稿頂いた皆さまありがとうございました。

私の趣味



黒田 睦子 (31期)

奈良市の旧市街地「奈良町」は平城京が奈良に遷都された1300年前、飛鳥から移された元興寺の門前郷として発展。戦後の高度成長期に風化した奈良町を、保全再生しようと1970年代から市民主体で、歴史遺産を生かしたまちづくり活動を。現在は奈良市の都市景観形成地区に指定。町が美しく魅力、賑わいがある。長年の軌跡を、「奈良町の暮らしと福祉」(東信堂 居住福祉ブックレット2006 700円)にまとめ今年、新刊「ふるさとの原風景をふたたび」(東信堂2022 1200円)を上梓。下関の唐戸も登場。お読み頂ければ幸いです。



私の趣味の世界は…



西村 勲 (33期)

私の趣味と言えば多趣味でしてその中でも長く続けているのが合唱です。下関西高のクラブ活動で剣道部と音楽部に入り、剣道は途中で退部しましたが音楽部は卒業まで続けました。朝日新聞社主催の西部合唱コンクール山口県大会で優勝して宮崎



切手植物図鑑

切手植物図鑑

このサイトに訪問いただきありがとうございました。手元の切手を整理しながら少しずつ「植物図鑑」を作っています。

○現在までに掲載した植物切手の数: 15, 021種類

- 切手の発行国・地域から探す (アルファベット)
- 植物の分類体系から探す
- 植物の科名から探す (カタカナ)
- 植物の科名から探す (アルファベット)
- 植物の科名から探す (アルファベット)
- 植物の科名から探す (アルファベット)

○サイト中の記号: (*)=学名の表記誤り、R.=共和国、P.R.=人民共和国、S.R.=社会主義共和国、F.R.=連邦共和国などを表す

○検索はこちらから↓ (植物の名前は全角カタカナで、アルファベットは半角で入力してください)



杉 顕紹 (43期)

私の作っている「切手植物図鑑」というサイト (<http://poststamps.xst.jp>) をご紹介します。もともと植物を描いた切手を収集していたのですが、入手した切手を、発行した

まで遠征したことも病みつきになった基でしょうか。或いは練習に南校舎(当時女子ばかりの現南高)の階段を上るのが楽しかったのでしょうか、とにかくそれからずっと歌っています。今は堺フロイデ合唱団テノールパートでレクイエム、ミサ曲などを練習しています。他方男声合唱団昇にも参加して、先日豊中市文芸センター大ホールでの演奏会を終えたところです。そんなことで、三つ子の魂百までもを続けている昨今です。

京都・龍安寺石庭の四季



永繁 晶二 (44期)

このところ(といってもコロナ禍前ですが)、退職後の暇を持って余しカメラをぶら下げて京都の古刹巡りをしていく。春の桜は、醍醐寺、御室の仁和寺など、秋の紅葉は、永

国と植物分類の両方に従って整理できないかと考え、現在の形になりました。海外の切手の多くはオークションサイトで入手しますが、入手した切手に描かれている植物の学名(分類)を確認して、サイトに載せるといった作業を楽しみながら行っています。サイトは「切手植物図鑑」で検索ください。同好の方がおられましたら、サイト内からメールしていただけますのでぜひご連絡を。「植物ぶつぷつダイアリー」と「壽福寺だより」というブログも持っていますので、こちらも覗いてみてください。



観堂、東福寺など、など。ただ、最も多く訪れたのは、石庭で名高い龍安寺と思う。

龍安寺を初めて訪れたのは、1972、73年頃。デモとアルバイトに明け暮れた学生時代を終え、社会に出て1、2年、会社員としての夢や希望も持てず自分自身はどう流されていくのか不安の中で、広縁に腰を下ろし石庭をぼーっと眺めていたことを昨日のことのように思い出す。

この龍安寺石庭は、ご存知のように枯山水庭園の代表例で、東西25m、南北10mの空間に15個の石が配されたもので、石と白砂とわずかの苔のみ、周囲を油土塀で囲まれている、ある意味極めてシンプルな庭である。「無」に通じる、何かを思考させる空間である。

この哲学的ともいえる庭園であるが、最近、季節の移り変わり(四季)を感じるようになった。春は油土塀の裏側に枝垂れ桜があり、桜の花びらが石や土塀の屋根にはらはらと舞い落ちる。夏の梅雨時には大小の石がしつとりと雨に濡れる。庭園の写真はすこしの雨の日が最も雰囲気が撮れるといわれている。秋は紅葉。油土塀に覆いかぶさるような紅葉。真ん中から右側は真っ赤、左側は少し黄色っぽい、石庭全体が秋に

染まる。冬は雪をすこしかぶった石さらに音を消したような空間。いつでも季節の中で何か新しい発見がある。面白い。

油土塀の裏にある枝垂れ桜(さくら)が、以前雑誌などで見たものより小ぶりのように思われる。何年前かに植え替えられたという説もあり、来春にはコロナ禍も収まり4、5年ぶりに枝振りも伸び、満開の桜が見れるのでは…。楽しみだ。



古い町並み探索と赤線奇譚

中村 榮一(44期)

私は以前より彦中関西同期会で重要伝統的建造物群保存地区などの町並み探索会を主催しています。

この企画は女子に好評で、古い町並みを背景にすれば女子は誰もがノスタルジックロマンに浸るよう、林静一が描く少女のような表情を見せてくれるのです。

JRの格安切符を使って行くので乗り換えなどの確認はもろろん、一人で現地に赴き事前調査も行なっていますが、事前調査では私だけの密かな楽しみもあるのです。

武家屋敷町は別として商人町・宿場町・港町には例外なくかつては赤

線地帯だったと思われる隘路や娼館があるので、淫靡なタイル貼りの外壁・凝った門灯・紅柄格子・丸窓などを丹念に探索しながら、密かに永井荷風や滝田ゆうの世界に思いを馳せているのです。

もちろん女子を交えた町並み探索会の当日は赤線地帯のことなど一言も口に出しません、西高生なら隠したい歴史に目を背けることなく客観的に直視できるし、ダークツーリズムも理解してくれるので共通の話題にもなります。

平成22年度の旭陵同窓会誌には下関の遊郭街も掲載しました。

史から抹消したいでしょうから、かつて遊郭だった建物の解体に補助金は出しても、保存のために補助金を出すことはないでしょう。

造園学では景観は十年・風景は百年・風土は千年と言われますが、売春防止法が施行されて63年の間に赤線地帯の風景・風土は消滅しようとしています。私は赤線地帯も文化の一つで、ダークツーリズムも観光資源だと思っています。

閑を以って楽と為す 「以閑為楽」



中野 善朗 (44期)

長年、生きることに一生懸命で働きづめで来た。一時期は年中無休状態で働いた。しかし突然に、飲食業の私には思いもかけぬ有給休暇が訪れた。しかも七か月の間。強制的なコロナ休暇である。確かに七二才の私の年齢の同期生達は、長年のお勤めを終えて、毎日が日曜日生活に慣れていようが、私には与えられた時間の対応をどうするかが大きな課

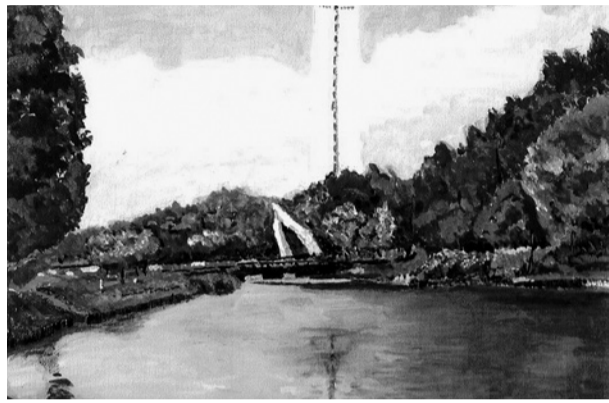
題となった。

まずは歩いてみるか、と、いつもは車で走り抜ける風景を歩いてみた。いつもは訪れる事のない、大泉緑地、大仙公園、長居公園、大浜公園、一日二万歩目標に挑戦。それ以外にもかなり踏破した。

そんな折、西高ハイキングで知り合った四三期の奥田先輩の趣味のスケッチ画に触れた。いつもスケッチブックを手に、思いついた景色を描き綴っているのを羨ましく思ってた。しかし私は絵画が大の苦手と言うか、いや絵を描く人は宇宙人とさえ思っていた。私には不可能。無理。

だが、先輩曰く、楽しめばどの甘い言葉に、それも有りかとスケッチブック、絵筆、水彩絵の具、形から揃えた。龍神温泉近くでスケッチしていたら、小学生の子が覗きに来たのを慌てて店じまいするほど恥ずかしい出来であった。

絵心の無い私にはスケッチもデッサンも不可能と気づいた私は、そう、色鉛筆で塗り絵だ！と変心した。そのうち、立体感を出すにはこれか、同じ緑でもこんなに有るのか等と少しずつ面白くなってきた。次いで、塗り絵が単純なので、水彩絵の具で挑戦、塗り絵は卒業してパステ



大仙公園 平和の塔

ル画を挑戦、重ね塗りが出来る方が良いかなと画商を訪れて油絵の画材を揃えて欲しいとお願いとすると、経験なしの私を見下して、そりゃアクリル絵の具から入りなはれと諭されて、アクリル画に挑戦。

六作品を描いて、ま、芸事なんて自己満足の世界で十分と自分に言い聞かせながら、自分の感性の表現かなと悦に入っている次第。



千の風に

もう一つ経験の無い世界で、これも私の感性の世界には存在しない陶芸：というか体験陶芸を、訪れる近くの温泉旅を主体にして挑戦してみた。

まずは信楽焼から始め、丹波焼、備前焼、常滑焼、瀬戸焼、越前焼と日本六古窯を訪れて体験ながら各焼物に挑戦、酒飲みうつつを作った。焼き上がりを待つ三か月が楽しかったが、できた備前焼には愕然と落ち込んでしまった。ひどかった。

忙中閑有り、閑を以って楽と為す。多忙極める人生の中で見つける自由になる時間は、大変に有難く、大切に思える。そして、その与えられた貴重な時間を、本当に楽しんでこそ、「閑」の意義があるのかなと思える。七四才、まだまだ仕事現役、そして人生を楽しむことはもっと沢山待っている。

還暦からの登山



下方 常由 (47期)



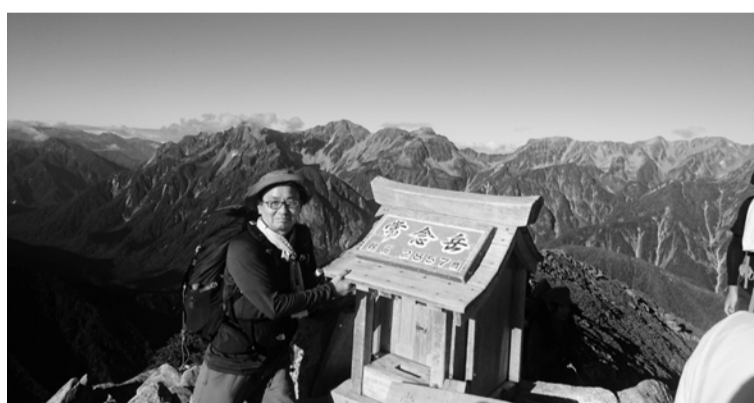
常滑焼

私は60歳迄、転勤12回のハードもあり、仕事中心の無趣味の生活でした。登山を始めたきっかけは、還暦前に赴任した大阪で、登山好きの後輩と出会ったことでした。当初は、生駒、葛城、金剛山など奈良県、山々や、六甲山、四国石鎚、鳥取大山など近場の低山へ登っていました。3000m級登山のきっかけは、その後輩が「下方さん、そろそろもう少し高い山を目指したくなっているでしょ？したら北アルプスの立山に行きましょうよ」と誘ってくれたことです。その7月下旬の登山の日は、殆んど風もなく快晴で、頂上では、昇る朝日と、360度の大パノラマ「凄〜い、凄〜い。素晴らしい。別世界だ」と魅了され、暫くはその場から離れられませんでした。それ以来、富士、穂高、槍ヶ岳、剣岳、北岳など信州の山々を毎年挑戦しています。

「あとのくらい登られるんだろう」と思いながら、今年も5月連休や夏と秋に信州へ出掛けてきます。また片方で、登山以外で一生続けられる趣味を持ちたいと思い、完全退職した65歳から、住まいの近くの大坂天満宮で始めた(茶道)と、67歳から本気になった(ゴルフ)も合わせて、これからの「2度目の青春」を有意義に、生きて行きたいと思っています。



八ヶ岳連峰



常念岳登頂

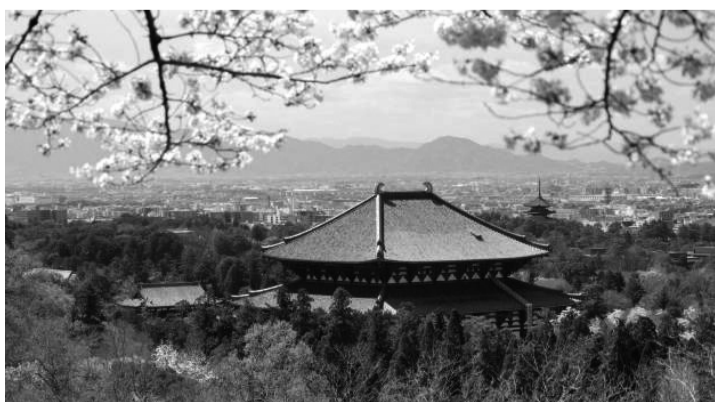
カメラをグレードアップしました



藤村 徹 (48期)

趣味の話ということなのでカメラ好きの方向けのレポートです

最初のカメは Nikon の望遠に特化したデジカメでした。今思えば盗撮用？に近い倍率のデジカメでした。近くによく来る鳥を撮ろうと思っていたので。しかし画質に満足できずSONYのミラーレス一眼レフに替えることにしました。最初の一眼レフは2400万画素でした。画質の良さには満足で、これで7年遊びました。しかしその後、より高解像度のカメラが出てきましたので、いつかは買うぞと狙っていましたが、今年の新年をきつかけに思い切った腕のステッパーアップ？を誓ってグレードアップしたものです。



満開の日の東大寺

さてその後半年…。大満足！です。毎日が楽しく忙しく現像する時間が

足りません。(デジカメですがRAWデータで保存してPCでJPEGに現像しています)

写真の先生のような先輩がFAC EBOOKに投稿していた写真の謎が解きました。写真の色合いが濃くて、コントラストつけすぎじゃない?などと思っていたのですが、自分の写真も同じようになったのです。4200万画素の写真だったのですね。画素数が大きいと、色が濃く映ります。被写体の質感がまるで違います。もちろん若草山山頂から撮ったような遠景写真も奈良市内の建物一つ一つくっきりと写ります。その分ピント合わせが大切です。三脚無しでの撮影ならこのカメラは必要ありません。三脚禁止の場所では何かによりかかって、体を固くして2秒タイマーで。肩が凝るカメラなのです。しかし私の写真の販売サイトでは高評価が多くなりました。トリミングして一部だけ使っても十分に使用に耐えられるからでしょう。

そして現在は、10年間撮りためてきた被写体を取り直しています。またこれまで目を向けてこなかった被写体、例えば単なる葉でもこの質感が出るならカメラを向けたくなる、そんな被写体や、高所からのビル群などにもチャレンジしようと思っっています。今日は野に出て、摘んだアザミを木陰に置いて、木漏れ日の玉ボケ背景で遊んでみました。これから現像するのになくわくしています。写真好きの方は道具もグレードアップされるのが世の常だろうと思います。その時の財産はレンズですね。レンズがあるからカメラのメーカを変えられない。ということを実感します。複数メーカのカメラを使い分けている方は尊敬いたします。レンズを変えるのが面倒なので複数台のカメラを持ち歩いている人にも憧れます。

この趣味の世界で一定の経験をしてきましたので、少し自信が出てきたかなという頃です。撮影中に



アザミ

声をかけられても少し堂々と会話している自分がいます。

自然を中心に撮っています。自然が本当に美しいのはそれぞれ限られた時間です。それを逃すまいと、この年でもまだまだ毎日忙しい人生なのです。

私の趣味



中野 光男 (48期)

趣味は?と聞かれていつも返答に困るのですが、最近特にコロナ禍に入ってから、読書とゴルフが趣味になってしまいました。

ゴルフは下手の横好きで社会人になって以来続けてきましたが、一向に上達しません。しかし、いろんな方に誘われて年間50回近くラウンドしています。今年はキャディ委員を仰せつかっている鳴尾ゴルフ倶楽部

がグリーン改修工事のため休業しているのでもはや少なめですが、それでも5月末までに15回を数えました。旭陵同窓会に絡んだゴルフだけでも毎月1回ほぼ固定メンバーで三木よかわカントリークラブや愛宕原ゴルフ倶楽部などでプレーしています。会報の本号でも紹介されていますが、誰でも参加できるゴルフなので是非ご一緒しましょう。もう一つ、48期同期のゴルフコンペが毎年春と秋の2回、ここ数年は関西からの参加者に配慮していただいて、朝一番の新幹線でも参加可能な厚狭ゴルフ倶楽部で開催されています。今年は4月27日に開催され2年半ぶりに参加しましたが、ハンデいに恵まれて準優勝をいただきました。

オケ老人たちは多趣味



黒岩 松彦 (54期)

残念ながら才能はなく、きつかけとか活動内容とか、恥ずかしいので、このような文章作ってみました。

彦中で1年生の音楽テスト赤点ヤシ。

オケ老人たちは多趣味です。コロナ前の2018年冬、還暦を前に所属したアマチュアオーケストラは演奏会に向けて宿坊で合宿をしました。

大半がすでにサンデー毎日の方々です。夕食後はお決まりの宴会。談笑が始まりましたが、クラシックオタクがホール音響、名物演奏会など語りますが、ついていけません。そ

の他、英会話、バイクツーリング、囲碁、DIY、中にはスクワットを日課とする健康老人もいます。私は、無趣味と答えました。楽しいオケ老人会です。



43期 奥田一夫氏 画

坐禅で心身の安定を



阿部 紀一郎 (54期)

約20年間毎日欠かさず(とはいっても月に一・二度欠かすことがあります)坐禅を組んでいます。きつかけは、45歳の時に会社から

指示された「自分で自由に計画する、二週間連続で会社と連絡を断つ休暇」(実は研修)でした。私は永平寺での修行体験を計画したので。

学生時代に、旭陵の先輩から三島の禅寺「龍沢寺」での数か月間をわたる修行から得られた様々なことをお聞きし、自分も学生最後の仕上げに同じように過ごそうと思いたち、その寺を探してたどり着きました。その時には「修行僧専用の寺」となっていて、文字通り門前払いとなりました。

何とか今一度あの青春の熱い思いを実現させるべく京都の禅寺で7日間の予備研修を経て3泊4日の永平寺に向かいました。携帯はじめ持参物すべてを寺に預け、新聞やテレビなど外界との接触をすべて絶ち、許された場所・時間だけしか声を発することもできないルールです。その中で一日に延べ9時間にわたり座禅を組むのでした。これは心を整理できる生まれて初めての貴重な体験でした。

それからは近くの禅寺の早朝参禅会に行ったりしていましたが、一番は自宅で自分の座蒲(坐禅用座布団)で気のすむまで壁に向かうもので、終生続けようと思っています。



追伸①「気のすむ」とは、そろそろ足も痛いし色々考えても堂々巡りで気に病むだけだからこのくらいでやめとこう・・・との「結論」が出るまであれこれ雑念と戯れることです(私見)。

アクリルガッシュの魅力



玉川 洋 (59期)

高校、大学と美術部で水彩画を描いておりましたが、最近アクリルガッシュにはまっています。水彩画は失敗すると直しが出来ず、油絵は直しが出来るが乾燥に時間が掛かりでストレスを感じておりました。そこにアクリルガッシュという直しが出来て、乾燥も早い、薄く描けば水彩画のようにも表現出来るという絵の具に出会い、嬉しくて作品作りに没頭しております。作品2点は地元茨木市の丸またトンネルと茨木神社の東門です。またTgedbookで友達になった方々の個展、グループ展を観に行つて、リアルで作品のお話を聞きさしたりと楽しく交流させてもらっています。今度は少し大きめの絵を描く為イーゼルを購入予定でしたが、なんと先日、娘が父の日にプレゼントしてくれました。娘よ、ありがとう!



茨木神社東門



丸またトンネル

東京支部便り

旭陵同窓会

関西支部の皆様へ

コロナ禍の影響により社会活動が大きく制限を受け2020年は総会中止に至り、2021年も我々66期が継続して当番幹事を務めることとなりました。今年こそはと幹事一同決意を新たに準備を進めたものの、感染状況の改善は見られず大人数が一堂に会するイベントの開催は絶望的。同窓の方々の落胆が予想され、そして何より当番幹事として悔しさが残ることから、3月の常任委員会にてオンライン同窓会の実施を提案させて頂きました。

諸々の準備の大変さから同意を得られるかどうか不安ではありましたが、常任委員の皆様から快諾をいただき実現に向け準備をスタート。せっかくオンラインなので、参加者を東京支部に限定せず、下関本部、関西支部、その他の地域、海外在住者まで幅広くお声掛けさせて頂き、2021年11月28日(日)に「旭陵

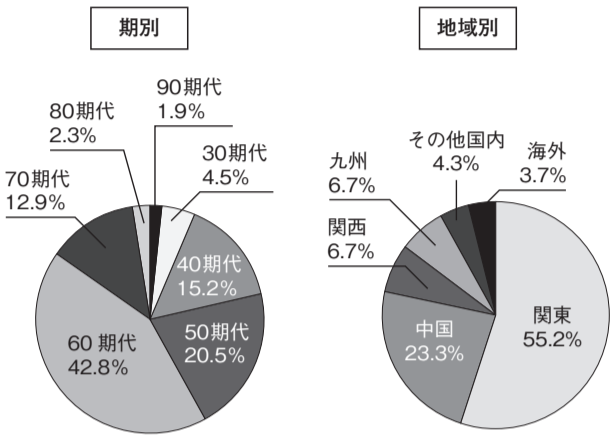


同窓会 オンライン大同窓会」を無事開催することができました(参加者264名、以下グラフ参照)。前半は林外務大臣、前田市長、山田校



長のビデオメッセージ、そして各期代表の方々の一言メッセージを配信して、卒業年度別の交流や、テーマ別のディスカッションを実施、前田市長に「地元下関を考える」に参加頂くなど大変な盛り上がりとなりました。関西支部からも多数ご参加頂いた他、普段交流が難しい海外や入院中の方にも参加頂き旧交を温められ、大変嬉しい機会となりました。同窓生へのお声掛けなどにご協力頂いた皆様には改めて深く御礼申し上げます。

66期当番幹事代表 秋葉良和
オンライン担当 上野昌章



66期幹事団(右から2番目が秋葉さん、右端が上野さん)



神鳥 泰章 (67期)

令和4年度の当番幹事代表を務めます67期(1990年卒)の神鳥泰章と申します。

コロナによるパンデミックは、収束の方向に向かったかと思えば再び感染者が増加し、新たな変異株の脅威も予想され、いまだ社会全体が不安を抱えている状態です。このため、数百人が一堂に会する形での開催は困難と考え、今年10月にハイブリッドという形での開催といたします。

オンラインの道筋を作ってくださった昨年の幹事の方のチャレンジを発展させ、関西や下関などどこにいても参加できるオンラインのメリットを活かしつつ、直接会える喜びや一体感が感じられるよ



2022年5月開催の東京支部ウェルカムパーティの様子

う、サテライト会場に人数を限定して集まれるようにしたいと思えます。

そして、今年のテーマは「つながり再生」帰ってきたちやっ！」に設定いたしました。

この同窓会は、我々にとって西高卒業後のつながりが再生される場だと思っております。また、コロナにより失われてしまった様々なつながりも2022年から再生していくはず。この中、新たな「つながり」を新たな方法で「再生」していきたいと思っております。

我々67期の同期の多くも関西で活躍しています。関西支部の益々のご発展を祈念すると共に、下関本部、関西支部、東京支部の間で、時間と距離を超えてつながりを再生し、これを醸成していくことを心からお願い申し上げます。今後ともよろしく

東京支部 令和4年度
当番幹事一同

関西支部WEB懇親会開催のご報告

関西支部では、東京支部に先立ち初の試みとして2021年9月5日(日)13時~14時にZOOMによるWEB懇親会を開催いたしました。コロナの影響で総会も2年連続で中止となり、何らかの形で新たな取り組みが出来ないかとの考えから開催に至りました。参加者は12名と少なかつたのですが、それぞれ近況報告をして頂き、和気あいあいとした懇親会でした。今のところ2022年はリアルでの総会、懇親会を予定しております。また会場



皆様にお会いできることを楽しみにしております。

旭陵関西支部 ホームページのご案内



旭陵関西支部ホームページ TOP画面

皆さん、旭陵関西支部のホームページをご覧になったことはありませんか? 「旭陵関西」で検索すれば簡単にアクセスできます(もちろんお手持ちのスマートフォンでも)。昔懐かしい「高関」のロゴ、新旧校舎の写真がトップページを飾り、お馴染み「天下第一関」の額装を見ればたちまちあの頃の思い出が甦ることでしょう。



旭陵関西支部ホームページ 交友録画面

(64期 柴田徹也)

URLは左記の通りです。
<https://kyokuryo-kansai.jp>

関西」のバックナンバーも収録されており、支部の情報がたっぷり網羅されています。是非一緒に関西支部ホームページを、そして関西支部を盛り上げていきましょう!

青空に枝垂れ桜の花のれん



田底 成智 (55期)

巷では、三年ぶりにイベントが再開などという告知がなされ、コロナ禍という長いトンネルの出口が見えています。旭陵同窓会関西支部では、年次総会、ゴルフコンペ、新年会、カニカニツアーなどのイベントが中止となっていますが、再開が待ち遠しいです。

そんな中、同窓の皆様を維持することを目的として、春と秋のハイキングだけは、続けさせていた

さて、今年は、京都の桜を満喫したいということで、四月十日に平安神宮と蹴上インクラインを歩くというハイキングを企画しました。ちょうど、まん延防止等重点措置は解除され、皆様が参加しやすい状況となりました。



春のハイキング(平安神宮)

【集合】四月十日十時、京阪の神宮丸太町駅に集合としたところ、昨年の三倍の十五名の方が来てくださいました。ここで、ハイキング発生。

【琵琶湖疎水】私は、土木技術者の端くれですが、百三十年前にできた人工の河川には、いつも感動します。二月に下見したときは、工事中で、水量が少なかつたのですが、当日は豊富に水があり、今も現役として使われているのに驚きました。

【平安神宮】(写真) スマホ回収組を待たために、予定になかった神苑見学を加えました。絵葉書の写真が

【南禅寺】南禅寺には水路閣があります。琵琶湖疎水の一部で、現在でも使われている水路橋です。近代土木遺産にもなっています。大野先輩



春のハイキング(鴨川)

と一緒に、ゆっくり歩きながら、向かったのですが、振り向くと誰もいません。どうやら、途中にある動物園を眺めたり、飲み物や弁当を探したりしたようでした。この時点で、予定時刻をかなりオーバーしたため、南禅寺を通過して、蹴上インクラインに向かいました。

【蹴上インクライン】蹴上インクラインは、琵琶湖疎水の船を運ぶための鉄道です。今は使われていませんが、ソメイヨシノが桜のトンネルとなっていて、残念ながら、一週間遅かったようです。

【鴨川】(写真) 蹴上から三条京阪まで、地下鉄で四分。それでも、十二時をだいぶ過ぎており、鴨川の土手が空いているのか心配でした。

【現状】ゴルフコンペの幹事を担当している田底(五十五期)です。旭陵関西支部では、春と秋にゴルフコンペを企画しています。残念ながら、令和元年十月を最後に、コロナ感染症がまん延したために、ゴルフコンペは、中止して

現状と今後の予定

【現状】ゴルフコンペの幹事を担当している田底(五十五期)です。旭陵関西支部では、春と秋にゴルフコンペを企画しています。残念ながら、令和元年十月を最後に、コロナ感染症がまん延したために、ゴルフコンペは、中止して

日時：五月二十五日(水) 場所：三木よかわカントリークラブ 結果は、熊野裕治様(四十五期)が優勝となりました。しかし、開催できない期間が長引いた結果、予想を下回る参加人数となりました。以下の原因により、参加者が集まりにくいと考えています。

- ① コロナの影響により、外出を控えた方が多くおり、皆さん、体力低下並びに、体調不良の状態にある。欠席の連絡があった方が該当。
② 転勤や帰郷により、関西を離れた。これも該当される方がいます。
③ 新しく旭陵関西支部同窓会に加わ

【今後の予定】秋のゴルフコンペは第四十回記念大会として、十月の第二日曜日(九日)か第三日曜日(十六日)開催を予定しています。ただし、ゴルフコンペを行うには、二組以上は欲しいところ。また、ゴルフコンペ以外にも、同窓会として親睦の場は確保したいところです。

- ① 月一回程度開催する。
② プレイ費を安くするために、平日のいずれかで開催する。
③ 開催日は、旭陵関西支部同窓会のホームページで告知する。
④ 開催場所は、公共交通機関でアクセスできる場所(最寄駅から、クラブバス等で行ける場所)とする。
⑤ 七月は、二十五日に、ライオンズスカントリークラブに決まりました。(三田駅からタクシーで十五分、二十分。参加者同士で、クルマでピックアップしていただく手配もします。)

- ⑥ 最小参加人数は三人とする。
ご興味のある方、幹事の腕前は、百獣(百十)の王ですから、安心して、ホームページのチェックをお願いします。

2021年7月〜2022年4月 寄付者ご芳名(敬称略、順不同)

ご支援いただきありがとうございます。改めて御礼申し上げます。本号の発行及び今後再開する各種活動に使わせていただきます。

Table with 2 columns: Name and Amount. Includes names like 西村 勲 (33期), 藤井啓爾 (33期), 林田一成 (36期), etc.

旭陵同窓会関西支部役員

Table with 3 columns: Position, Term, Name. Lists members like 支部長 阿部 紀一郎, 副支部長 中谷 幸一, etc.

編集後記

今号27号では前号の「コロナ禍の過ごし方」を深掘りして特集ページ「趣味の世界への招待」を組みました。皆さまそれぞれ楽しんでいただけた。皆さまそれぞれ楽しんでいただけた。皆さまそれぞれ楽しんでいただけた。